

基本計画書

基本計画										
事項		記入欄								備考
計画の区分		研究科の専攻の設置								
フリガナ設置者		カッコウホクシン タマビジュツガクイガク 学校法人 多摩美術大学								
フリガナ大学の名称		タマビジュツガクイガクイグイン 多摩美術大学大学院（Graduate School of Art and Design, Tama ArtUniversity）								
大学本部の位置		東京都世田谷区上野毛3丁目15-34								
大学の目的		多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程（修士課程）では、独自の表現世界を築き上げる強い意志と持続力を持ちながら、自由に探求し、創造の可能性を広げられる人材を養成することを目指している。この過程で、自身の技術と理論に深く向き合い、外部からの刺激を積極的に受け入れ、伝統と革新が共生する新たな表現空間を創り上げることができる芸術の創作者、研究者、さらには革新者として社会に貢献できるような人材を養成することを目的とする。 博士後期課程（博士課程）では、思考の強度を高め、専門領域を大胆に横断し、そこに新たな価値を創出し、社会を刷新し牽引していくための理論を確立することを目的としている。 そのため博士前期課程（修士課程）での7専攻（本届出専攻含む）の構成から、博士後期課程（博士課程）では、美術専攻の1専攻とし、創造的な総合を成し遂げることができる体制を採っている。								
新設研究科等の目的		旧来のデザイン人材は、大学卒業後、企業内デザイナーや広告代理店やデザイン事務所でデザイナーとしての道を歩み、日本を代表する企業体や組織の中で創造的な役割を担ってきた。しかしながら、近年の工業化社会から情報化社会への産業構造の著しい変化や、AIなどの新しい情報技術の活用といった環境の変化に応じた新たなデザイン人材育成の場を考えることが急務となっている。 社会におけるデザインの枠組みは広がり、単に着想の具体化や表現に伴う専門的な技術の習得のみならず、デザインを通して世界を俯瞰して眺め、困難な局面における次の手立てを見つけ実行していくことが出来るような感性と知性と行動力、世界規模の視座を備えた統合的なデザインの能力がデザイナーには求められるようになってきている。 また、20世紀の日本の産業の発展と共に築き上げられてきたデザイン人材育成と卒業後の企業への進路や就職後の安定した道筋は、昨今の社会状況の変化や激しさを増すグローバルな人材の流動の中で変化が生じつつあり、旧来のデザイン人材の在り方の変容を迫られている。 グローバル化が進展し、社会が直面するデザイン課題はますます複雑化している状況では、広い視野と多様な経験を持ち、社会に積極的に関与しながら自立的に活躍できるデザイン人材が求められる。基礎となる学部である統合デザイン学科では、分野を分けず様々なデザイン領域を横断的、統合的に学びながらデザインの本質の理解を深める独自のカリキュラム（プロジェクト形式の授業等）を用意し、広い視野と深い思考力、柔軟な表現技術を身につけることに取り組んできた。修士課程では、研究を推進する力や理論化する力に加えて直感や実装力を重視し、現実社会で即戦力となるデザイン人材を養成し、変化する世界を多面的・多層的に捉え、従来の価値観に囚われない新たな価値を創造できる人材を養成することを目指す。								
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 美術学部統合デザイン学科
	美術研究科 博士前期課程 統合デザイン専攻	年	人	年次人	人	修士 (芸術)	美術関係	令和8年4月 第1年次	東京都世田谷区上野毛3丁目15-34	
	計	2	8	—	16					
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		美術研究科デザイン専攻〔定員減〕（△8）（令和8年4月）								
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数						修了要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計					
	美術研究科 博士前期課程 統合デザイン専攻	3科目	9科目	1科目	13科目	34 単位				

研 究 科 等 の 名 称			専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)							
			教授	准教授	講師	助教	計									
新設分	美術研究科 統合デザイン専攻 (博士前期課程)		7人 (7)	2人 (2)	1人 (1)	0人 (0)	10人 (10)	3人 (3)	8人 (8)	統合デザイン専攻 は上野毛キャンパス						
	計		7人 (7)	2人 (2)	1人 (1)	0人 (0)	10人 (10)	5人 (5)	－ (－)							
既設分	美術研究科 絵画専攻 (博士前期課程)		13人 (16)	3人 (3)	2人 (2)	0人 (0)	18人 (18)	8人 (8)	78人 (82)	絵画専攻、彫刻専攻、 工芸専攻、デザイン専攻、 芸術学専攻は八王子キャンパス						
	美術研究科 彫刻専攻 (博士前期課程)		3人 (3)	3人 (3)	0人 (0)	0人 (0)	6人 (6)	4人 (4)	78人 (82)							
設分	美術研究科 工芸専攻 (博士前期課程)		4人 (4)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	6人 (6)	4人 (4)	78人 (82)							
	美術研究科 デザイン専攻 (博士前期課程)		24人 (27)	11人 (11)	4人 (4)	0人 (0)	39人 (42)	15人 (15)	41人 (42)							
分	美術研究科 芸術学専攻 (博士前期課程)		6人 (7)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	6人 (7)	4人 (4)	75人 (78)							
	美術研究科 演劇舞踊専攻 (博士前期課程)		5人 (6)	2人 (2)	2人 (2)	0人 (0)	9人 (10)	6人 (6)	14人 (14)	演劇舞踊専攻は 上野毛キャンパス						
計			55人 (63)	21人 (21)	8人 (8)	0人 (0)	84人 (92)	41人 (41)	－ (－)							
合 計			62人 (70)	23人 (23)	9人 (9)	0人 (0)	94人 (102)	46人 (46)	－ (－)							
職 種			専 属			その他			計							
事 務 職 員			148人 (148)			52人 (52)			200人 (200)							
技 術 職 員			23人 (23)			0人 (0)			23人 (23)							
図 書 館 職 員			6人 (6)			20人 (20)			26人 (26)							
そ の 他 の 職 員			0人 (0)			0人 (0)			0人 (0)							
指 導 補 助 者			0人 (0)			0人 (0)			0人 (0)							
計			177人 (177)			72人 (72)			249人 (249)							
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計							
	校 舎 敷 地		169,019㎡		0㎡		0㎡		169,019㎡							
	そ の 他		30,636㎡		0㎡		0㎡		30,636㎡							
	合 計		199,655㎡		0㎡		㎡		199,655㎡							
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計							
			115,652㎡ (115,652㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		115,652㎡ (115,652㎡)							
講 義 室 等 ・ 新 設 研 究 科 等 の 専 任 教 員 研 究 室			講義室		実験・実習室		演習室		新設研究科等の 専任教員研究室	研究室は共同研究 室						
			61室		316室		62室		1室							
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		電子図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	※学部等単位での 特定不能のため、 大学全体の数				
	美術研究科 統合デザイン専攻		328,581 [103,097] (317,851 [99,205])		1,674 [0] (1,478 [0])		6,484 [4,406] (6,340 [4,304])		3,076 [3,076] (3,002 [3,002])	－ () ()	－ () ()					
	計		328,581 [103,097] (317,851 [99,205])		1,674 [0] (1,478 [0])		6,484 [4,406] (6,340 [4,304])		3,076 [3,076] (3,002 [3,002])	－ () ()	－ () ()					
経 費 積 及 持 方 法 の 概 要	経費 の 見 積 り	区 分		開設前年度		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次		
		教員1人当り研究費等		－		283千円		283千円		283千円		283千円		283千円		
		共同研究費等		－		1,800千円		1,800千円		1,800千円		1,000千円		1,000千円		
		図書購入費		1,187千円		1,187千円		1,187千円		1,187千円		1,187千円		1,187千円		
		設備購入費		60,181千円		8,911千円		8,911千円		8,911千円		8,911千円		8,911千円		
	学生1人当り 納付金			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次				
				1,789千円		1,559千円		－ 千円		－ 千円		－ 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要																

	大 学 等 の 名 称	多 摩 美 術 大 学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度		所 在 地
既 設 大 学 等 の 状 況	大学院 美術研究科	年	人	年次 人	人		倍		東京都八王子市鎌水 2丁目1723番地	
	博士後期課程									
	美術専攻	3	5	－	15	博士（芸術）	1.20	平成13年度		
	博士前期課程									
	絵画専攻	2	43	－	86	修士（芸術）	1.16	昭和39年度		
	彫刻専攻	2	10	－	20	修士（芸術）	0.95	昭和39年度		
	工芸専攻	2	9	－	18	修士（芸術）	0.94	平成14年度		
	デザイン専攻	2	62	－	124	修士（芸術）	1.23	昭和39年度		
	芸術学専攻	2	5	－	10	修士（芸術）	1.00	平成10年度		
	演劇舞踊専攻	2	8	－	16	修士（芸術）	0.94	平成30年度	東京都世田谷区上野 毛3丁目15番34号	※演劇舞踊専攻は上 野毛キャンパス
	美術学部									
	絵画学科	4	195	－	780	学士（芸術）	1.09	昭和28年度	東京都八王子市鎌水 2丁目1723番地	
	彫刻学科	4	30	－	120	学士（芸術）	1.19	昭和28年度		
	グラフィックデザイン学科	4	184	－	736	学士（芸術）	1.07	昭和28年度		
	情報デザイン学科	4	122	－	488	学士（芸術）	1.22	平成10年度		
	建築・環境デザイン学科	4	80	－	320	学士（芸術）	1.10	平成10年度		※環境デザイン学科 は、令和6年度より 「建築・環境デザイ ン学科」に名称変更
	生産デザイン学科	4	104	－	416	学士（芸術）	1.11	平成10年度		
	工芸学科	4	60	－	240	学士（芸術）	1.05	平成10年度		
	芸術学科	4	40	－	160	学士（芸術）	1.22	昭和44年度		
	統合デザイン学科	4	120	－	480	学士（芸術）	1.13	平成26年度	東京都世田谷区上野 毛3丁目15番34号	※統合デザイン学科、 演劇舞踊デザイン学科 は上野毛キャンパス
	演劇舞踊デザイン学科	4	80	－	320	学士（芸術）	0.84	平成26年度		
附属施設の概要		特になし								

学校法人多摩美術大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
多摩美術大学					多摩美術大学				
美術学部				→	美術学部				
絵画学科	195	-	780		絵画学科	195	-	780	
彫刻学科	30	-	120		彫刻学科	30	-	120	
工芸学科	60	-	240		工芸学科	60	-	240	
グラフィックデザイン学科	184	-	736		グラフィックデザイン学科	184	-	736	
生産デザイン学科	104	-	416		生産デザイン学科	104	-	416	
建築・環境デザイン学科	80	-	320		建築・環境デザイン学科	80	-	320	
情報デザイン学科	122	-	488		情報デザイン学科	122	-	488	
芸術学科	40	-	160		芸術学科	40	-	160	
統合デザイン学科	120	-	480		統合デザイン学科	120	-	480	
演劇舞踊デザイン学科	80	-	320		演劇舞踊デザイン学科	80	-	320	
計	1,015	-	4,060		計	1,015	-	4,060	
多摩美術大学大学院					多摩美術大学大学院				
美術研究科				→	美術研究科				
博士前期課程(修士課程)					博士前期課程(修士課程)				
絵画専攻	43	-	86		絵画専攻	43	-	86	
彫刻専攻	10	-	20		彫刻専攻	10	-	20	
工芸専攻	9	-	18		工芸専攻	9	-	18	
デザイン専攻	62	-	124		デザイン専攻	54	-	108	定員変更(△8)
芸術学専攻	5	-	10		芸術学専攻	5	-	10	
演劇舞踊専攻	8	-	16		統合デザイン専攻	8	-	16	研究科の専攻の設置(設置届出)
					演劇舞踊専攻	8	-	16	
博士後期課程					博士後期課程				
美術専攻	5	-	15		美術専攻	5	-	15	
計	142	-	289		計	142	-	289	

教 育 課 程 等 の 概 要																
(美術研究科統合デザイン専攻)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹 (助手を除く) 教員以外の教員	
共通 選択 科目	演劇舞踊特論	1・2前			2		○								2	オムニバス・共同（一部）
	劇場美術デザイン特論	1・2前			2		○								3	オムニバス
	リサーチスキルズ	1通			2			○							1	
	アカデミックジャパニーズⅠ	1前			2			○							1	
	アカデミックジャパニーズⅡ	1後			2			○							1	
	統合デザイン特論	1・2通			4			○		7	2	1				オムニバス
	小計（ 6 科目）	—	—	0	14	0	—			7	2	1			7	
(専攻 専門科目) 専攻	統合デザイン研究Ⅰ	1通		6				○		7	2	1		3	共同	
	統合デザイン研究Ⅱ	2通		6				○		7	2	1		3		
	研究指導（統合デザイン）Ⅰ	1通		3				○		7	2	1		3		
	研究指導（統合デザイン）Ⅱ	2通		3				○		7	2	1		3		
	統合デザイン演習Ⅰ	1通		4				○		7	2	1		3		
	統合デザイン演習Ⅱ	2通		4				○		7	2	1		3		
	統合デザイン実習	1通	2					○		1	1			1		
小計（ 7 科目）	—	—	28	0	0	—			7	2	1		3	1		
合計（ 13 科目）		—	—	28	14	0	—			7	2	1		3	8	
学位又は称号		修士（芸術）			学位又は学科の分野				美術関係							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
統合デザイン専攻専門科目28単位、共通選択科目から6単位以上、合計34単位以上を修得して、さらに「特定の課題についての研究の成果（修士作品・課題研究作品）」または「修士論文（修士論文または課題研究報告書）」を提出し、審査に合格すること。 リサーチスキルズは全学生、アカデミックジャパニーズⅠ・Ⅱは留学生(日本語を母語としない者)の 1 年次の要履修科目(単位修得は必須としない)とする。									1 学年の学期区分				2学期			
									1 学期の授業期間				15週			
									1 時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																
(美術研究科演劇舞踊専攻)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
共通 選択 科目	文化人類学特殊研究	1・2通		4			○								1	オムニバス オムニバス
	芸術学特殊研究Ⅰ	1・2通		4			○							1		
	演劇舞踊特論	1・2前		2			○			2						
	劇場美術デザイン特論	1・2前		2			○			2		1				
	リサーチスキルズ	1通		2				○						1		
	アカデミックジャパニーズⅠ	1前		2				○						1		
	アカデミックジャパニーズⅡ	1後		2				○						1		
	統合デザイン特論	1・2通		4			○							10	オムニバス	
	小計（ 8 科目）	—	—	0	22	0	—			4	0	1			14	
演劇舞踊専攻 （専攻専門科目）	演劇舞踊研究Ⅰ	1通		6					○	3	2	1			6	
	演劇舞踊研究Ⅱ	2通		6					○	3	2	1			6	
	研究指導（演劇舞踊）Ⅰ	1通		3				○		3	2	1			6	
	研究指導（演劇舞踊）Ⅱ	2通		3				○		3	2	1			6	
	劇場美術デザイン研究Ⅰ	1通		6					○	2	0	1			6	
	劇場美術デザイン研究Ⅱ	2通		6					○	2	0	1			6	
	研究指導（劇場美術デザイン）Ⅰ	1通		3				○		2	0	1			6	
	研究指導（劇場美術デザイン）Ⅱ	2通		3				○		2	0	1			6	
		小計（ 8 科目）	—	—	36	0	0	—			5	2	2		6	
	合計（ 13 科目）		—	—	36	22	0	—			5	2	2		6	14
学位又は称号		修士（芸術）			学位又は学科の分野				美術関係							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
演劇舞踊専攻専門科目18単位（入学時に演劇舞踊または劇場美術デザインの研究領域からいずれかを選択）、共通選択科目から16単位以上を修得し、合計34単位以上を修得して、さらに「特定の課題についての研究の成果（修士作品・課題研究作品）」または「修士論文（修士論文または課題研究報告書）」を提出し、審査に合格すること。 リサーチスキルズは全学生、アカデミックジャパニーズⅠ・Ⅱは留学生（日本語を母語としない者）の1年次の要履修科目（単位修得は必須としない）とする。									1学年の学期区分				2学期			
									1学期の授業期間				15週			
									1時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(美術学部統合デザイン学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹 教員 （助手を除く） 以外の 教員		
共通 教育 科目	教養総合講座	1・4前			2		○									1	
	哲学-1	1・2・3・4前			2		○									1	
	哲学-2	1・2・3・4後			2		○									1	
	思想と表現-1	1・4前			2		○									1	
	思想と表現-2	1・4後			2		○									1	
	民俗学-1	1・4前			2		○									1	
	民俗学-2	1・4後			2		○									1	
	文化人類学-1	2・3前			2		○									1	
	文化人類学-2	2・3後			2		○									1	
	国際社会と宗教-1	1・4前			2		○									1	
	国際社会と宗教-2	1・4後			2		○									1	
	日本文化史論-1	2・3前			2		○									1	
	日本文化史論-2	2・3後			2		○									1	
	国際社会と文化-1	1・4前			2		○									1	
	国際社会と文化-2	2・3後			2		○									1	
	音楽Ⅰ-1	2・3前			2		○									1	
	音楽Ⅰ-2	2・3後			2		○									1	
	サウンドデザイン論-1	1・4前			2		○									1	
	サウンドデザイン論-2	1・4後			2		○									1	
	法学	1・4前			2		○									1	
	社会学-1	1・2・3・4前			2		○									1	
	社会学-2	1・2・3・4後			2		○									1	
	マーケティング論	1・4通			4		○									1	
	環境論-1	1・4前			2		○									1	
	環境論-2	1・4後			2		○									1	
美術 理論 科目	日本美術史概論	2・3通			4		○									1	
	アジア美術史概論	1・2・3・4通			4		○									1	
	西洋美術史概論	1・4通			4		○									2	
	芸術心理学-1	1・2・3・4前			2		○									1	
	芸術心理学-2	1・2・3・4後			2		○									1	
	現代美術-1	1・4前			2		○									1	
	現代美術-2	1・4後			2		○									1	
	総合美術ゼミ	1・2・3・4通			4			○								1	
	服飾文化論-1	1・2・3・4前			2		○									1	メディア
服飾文化論-2	1・2・3・4後			2		○									1	メディア	

(美術学部統合デザイン学科)

—基本計画書—8—

教 育 課 程 等 の 概 要																
(美術学部統合デザイン学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外(助手を除く)の教員	
共通 教育科目	情報工学演習	1前			2			○							1	
	アカデミックスキルズ	1・4前			2		○								1	
	小計 (69科目)	—	—	0	144	0	—			0	0	0	0	0	34	
統合デザイン 学科専門 教育科目	デザインベーシックⅠ	1通		14				○	○	3	3	1		3	2	共同
	デザインベーシックⅡ	2通		14				○	○	2	2			3	6	共同
	プロジェクトⅠ	3通		12				○		7	2	1		3	4	
	デザイン演習 (G1)	3通			4			○	○						4	
	デザイン演習 (G2)	3通			4			○	○	1	1	1			3	
	デザイン演習 (G3)	3通			4			○	○	1	1				3	
	プロジェクトⅡ	4前		6				○		7	2	1		3	4	
	卒業制作	4後		8					○	7	2	1		3	4	
	統合デザイン論Ⅰ	1・2・3・4通		4			○			1					1	オムニバス
	統合デザイン論Ⅱ	2・3・4通		4			○			1					1	オムニバス
	選択基礎演習Ⅰ	1通			2			○				1			3	
	選択基礎演習Ⅱ	2通			2			○							2	
	生態心理学概論Ⅰ	1・2・3・4通			4		○								1	メディア
	生態環境論	2・3前			2		○								1	
	デザイン・シンキング	2・3後			2		○								1	
	情報可視化概論	2・3・4後			2		○				1					メディア
	ソーシャルデザイン論	2・3・4後			2		○								2	オムニバス
	コミュニケーションデザイン論	1・2・3・4通			4		○								1	メディア
	メディア技術概論	2・3・4通			4		○			1	1					メディア・オムニバス
	統合デザイン史Ⅰ	1・2・3・4前			2		○								1	メディア
	言語表現論	1・4後			2		○								1	
	生活美基礎研究論	2・3通			4		○								1	
	プロジェクトディベロップメント	2・3通			4		○								1	
	デザインリサーチ	2・3・4通			4		○								1	
	シナジェティクス	2・3・4前			2		○			1					1	集中
	教育とデザイン	3前			2		○								1	
	小計 (26科目)	—	—	62	56	0	—			7	3	1	0	3	43	

教 育 課 程 等 の 概 要																
(美術学部統合デザイン学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹 教員 (助手を除く) 以外の教員	
博物館に関する科目	博物館概論	2・3・4前				2	○								1	メディア
	博物館経営論	2・3前				2	○								1	
	生涯学習概論	2・3・4前				2	○								1	
	博物館情報・メディア論	2・3・4後				2	○								1	
	博物館教育論	2・3前				2	○								1	
	博物館資料論	2・3後				2	○								1	
	博物館資料保存論	2・3後				2	○								1	
	博物館展示論	2・3後				2	○								1	
	博物館実習Ⅰ	3・4通				2		○							1	集中
	博物館実習Ⅱ	4通				1		○							1	集中
	小計 (10科目)		－	－	0	0	19	－			0	0	0	0	0	6
合計 (105科目)		－	－	62	200	19	－			7	3	1	0	3	83	
学位又は称号		学士 (芸術)			学位又は学科の分野				美術関係							
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法								授業期間等								
共通教育科目及び専門学科科目の選択科目から5 4 単位以上 (内 4 単位は言語科目)、専門教育科目の必修科目 6 2 単位及び選択科目から 8 単位以上を修得し、合計 1 2 4 単位以上修得すること。								1 学年の学期区分				2 期				
								1 学期の授業期間				1 5 週				
								1 時限の授業の標準時間				9 0 分				

授業科目の概要				
(美術研究科 統合デザイン専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通選択科目	演劇舞踊特論		舞台芸術／パフォーマンスアーツの美学を歴史的な展開を踏まえて根底から考察することによって、その表現の可能性について探究する。受講者各人が舞台芸術／パフォーマンスアーツの考察から新たな視点を得て自らの研究の幅を広げることを到達目標とする。2名の担当教員が、それぞれ「舞台芸術におけるイリュージョン」「『身体』から考える芸術表現の可能性」をテーマとした講義を行う。 (オムニバス方式・共同（一部）／全15回) (11. 土屋康範／12. 森山直人／1回) 第1回 ガイダンス、授業の進め方の説明、課題の提示 (11. 土屋康範／7回) 【19世紀舞台芸術のイリュージョニズム】 第2回 舞台芸術とイリュージョン 第3回 再現主義、自然主義 第4回 ロマン主義、ロマンチック・パレエ 第5回 ワグナーの全体芸術論 【抽象化と見立て、シアトリカルズム】 第6回 第四の壁の無効化、ソーントン・ワイルダー 第7回 20世紀のシアトリカルズム 第8回 イリュージョニズムはどこへ向かうのか。 (12. 森山直人／7回) 第9回 私たちの「身体」は、いまどこにいるのか？ 第10回 〈声〉と表現①——太田省吾の沈黙劇 第11回 〈声〉と表現②——サミュエル・ベケットの前衛劇 第12回 〈踊り〉と表現①——ビナ・パウシュのダンスシアター 第13回 〈踊り〉と表現②——ウィリアム・フォーサイスの脱構築 第14回 〈観客〉の身体——高山明／ロメオ・カステルッチ 第15回 まとめ——「身体」から考える現代の表現の可能性とは？	オムニバス方式・共同（一部）
	劇場美術デザイン特論		舞台美術、照明、衣裳、映像美術のデザインの理論などを考察することによって、その本質に迫り、理論から新たな視点を得て自らの研究の幅を広げることを到達目標とする。担当教員によるリレー講義を中心に授業を展開し、内容によっては課題演習を行う。 (オムニバス方式／全15回) (14. 金井勇一郎／5回) 舞台美術 ①舞台美術デザイン概論 ②演習 「タ鵲」の舞台美術デザイン ③演習 「タ鵲」の舞台美術デザイン ④演習 「タ鵲」の舞台美術デザイン ⑤演習 「タ鵲」の舞台美術デザイン プレゼンテーションと講評 (16. 大平智己／5回) 照明 ①導入講義—照明と上演芸術の関わりについて考える ②演習—テキストから照明表現のヒントを得る ③学内スタジオにて光の性質と照明機材の特徴・役割を知る ④学内スタジオにて実際に照明機材に触れ、表現の可能性を探る ⑤各自の研究テーマと照明の関わりを再確認し、総括する (13. 加納豊美／5回) 衣裳 ①実践舞台衣裳論1 “衣服”は饒舌 ②実践舞台衣裳論2 上演芸術と“衣裳” ③実践舞台衣裳論3 実例紹介 1 ④実践舞台衣裳論4 実例紹介 2 ⑤実践舞台衣裳論5 実例紹介 3 まとめ	オムニバス方式
	リサーチスキルズ		論証がどのように形成されているかを明確化することで、論証の成否に対する判断力を身につけ、それを土台にしつつ、論理的に整った内容をもつ日本語の文章作成能力を養う授業である。 1. 論文の文章表現力を身につける（通年の目標）。 2. 論証を理解し、その成否が的確に判断できるようになる（前期の目標）。 3. ピラミッド構造で論の内容を整理できるようになる（後期の目標）。	
	アカデミックジャパニーズⅠ		大学生活で必要なレポートの書き方を学ぶ。本授業では、レポートや研究計画書が必要となる表現を理解し、それらの表現を使えるようにする。書きことばと話しことばを区別し、レポートや研究計画書に必要な表現を使えるようになり、実際の作成物に応用できることを目標とします。	
	アカデミックジャパニーズⅡ		大学生活で必要なレポートの書き方を学ぶ。本授業では、レポートの取り組み方を実際の取り組みの順序通り行い、自身でテーマを見つけ、レポート・論文を作成できるようにする。レポート・論文のテーマ、論の構成、まとめかたを理解し、実際に自分で作成できることを目標とします。	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通選択科目	統合デザイン特論		デザインは、世の中を構成する様々な問題を見極め、社会や生活の本質的な向上を目指すものであり、局所的な対応ではなく、様々な領域が途切れることなく一貫性を持って具体化されることが重要である。この授業では統合デザイン専攻の教員がそれぞれの専門領域をベースとしながら、他の領域まで及ぶ統合的なデザイン事例を元に、デザインが社会や人とう関わっていくのかを論じる。そこから各自の研究テーマに必要な知識と学び、新たな創造力を養う。 (オムニバス方式／全30回) (2. 永井一史／3回) アートディレクション・ソーシャルデザインについて学ぶ (1. 長崎綱雄／3回) アンビエンスデザインについて学ぶ (3. 中村勇吾／3回) インタラクティブデザイン・コンピューショナルデザインについて学ぶ (5. 柴田文江／3回) プロダクトデザインについて学ぶ (10. 荒牧悠／3回) コンストラクションデザインについて学ぶ (9. 菅俊一／3回) コグニティブデザインについて学ぶ (4. 佐野研二郎／3回) アートディレクション・グラフィックデザインについて学ぶ (8. 野間田佑也／3回) ビジュアルライゼーションについて学ぶ (6. 佐々木千穂／3回) 経験デザインについて学ぶ (7. 詫摩智明／3回) UIXデザインについて学ぶ	オムニバス方式
統合デザイン専攻（専攻専門科目）	統合デザイン研究Ⅰ		(概要) 本授業のねらいは、各研究テーマに応じた適切な課題設定と研究計画のもと研究・制作を行い、2年次の修了制作までに一定の研究成果に結びつけることです。統合デザイン専攻では、各自の専門領域を持ちながらも、他領域まで及ぶ多面的な視点を持った研究課題に取り組み、新規性のある具体的な提案や理論化を目指します。 2年間の研究プロジェクトの実践を通じて、今後の変化する社会状況の中において自ら課題を発見し、答えのない問題に対して取り組んでいくための能力と姿勢を獲得し、研究者としての基礎を固めることを目標とします。 初年度に該当する本授業では、担当教員との個人指導と大学院生全体のクロスレビューを通じて、研究テーマの問いが定まっているか、研究テーマを実現する為の史的・研究・方法・根拠へのリサーチを実現しているかの精査を行い、研究計画立案の上、研究・制作の実践の中で2年目以降の研究を完遂するための確実な基盤を固めていきます。 (1. 長崎綱雄) アンビエンスデザイン研究 (2. 永井一史) アートディレクション研究・ソーシャルデザイン研究 (3. 中村勇吾) インタラクティブデザイン・コンピューショナルデザイン研究 (4. 佐野研二郎) アートディレクション研究・グラフィックデザイン研究 (5. 柴田文江) カタチと素材の研究 (6. 佐々木千穂) デザインリサーチ及び経験デザイン研究・インクルーシブデザイン研究 (7. 詫摩智明) UI / UX / CMFデザイン研究 (8. 野間田佑也) ビジュアルライゼーション研究 (9. 菅俊一) コグニティブデザイン研究 (10. 荒牧悠) ヴィジュアルデザイン研究	

科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
統合デザイン専攻（専攻専門科目）	統合デザイン研究Ⅱ		（概要）本授業のねらいは、各研究テーマに応じた適切な課題設定と研究計画のもと研究・制作を行い、修了制作までに一定の研究成果に結びつけることです。統合デザイン専攻では、各自の専門領域を持ちながらも、他領域まで及ぶ多面的な視点を持った研究課題に取り組み、新規性のある具体的な提案や理論化を目指します。 2年間の研究プロジェクトの実践を通じて、今後の変化する社会状況の中において自ら課題を発見し、答えのない問題に対して取り組んでいくための能力と姿勢を獲得し、研究者としての基礎を固めることを目標とします。 最終年次に該当する本授業では、担当教員との個人指導と大学院生全体のクロスレビューを通じて、初年度に設定した研究テーマの問いに対しての史的研究・方法・根拠へのリサーチが正しく十分に実現しているかの精査を行い、立案した研究計画が遂行され、研究・制作の実践の中で試作・議論が修了認定の基準を満たす成果物を制作することを目標とする。 併せて「修了制作展」を通じ、成果物を社会に問うプレゼンテーション能力を高めることを求めている。 (1. 長崎綱雄) アンビエンスデザイン研究 (2. 永井一史) アートディレクション研究・ソーシャルデザイン研究 (3. 中村勇吾) インタラクションデザイン・コンピューショナルデザイン研究 (4. 佐野研二郎) アートディレクション研究・グラフィックデザイン研究 (5. 柴田文江) カタチと素材の研究 (6. 佐々木千穂) デザインリサーチ及び経験デザイン研究・インクルーシブデザイン研究 (7. 詫摩智明) UI / UX / CMFデザイン研究 (8. 野間田佑也) ビジュアルライゼーション研究 (9. 菅俊一) コグニティブデザイン研究 (10. 荒牧悠) ヴィジブルデザイン研究	
	研究指導（統合デザイン）Ⅰ		（概要）統合デザイン専攻では、自らプロジェクトを立ち上げ、作品制作や表現研究を行いながら新しいデザインの具現化および理論化、そしてそれらの言語化を目指します。この授業では、特に自らの実践について体系化・理論化・言語化を行っていくことで、社会に対してプロジェクトの価値を問う際に重要となるリサーチ・プレゼンテーション・コミュニケーション力の獲得を目的としています。 (1. 長崎綱雄) アンビエンスデザイン研究 (2. 永井一史) アートディレクション研究・ソーシャルデザイン研究 (3. 中村勇吾) インタラクションデザイン・コンピューショナルデザイン研究 (4. 佐野研二郎) アートディレクション研究・グラフィックデザイン研究 (5. 柴田文江) カタチと素材の研究 (6. 佐々木千穂) デザインリサーチ及び経験デザイン研究・インクルーシブデザイン研究 (7. 詫摩智明) UI / UX / CMFデザイン研究 (8. 野間田佑也) ビジュアルライゼーション研究 (9. 菅俊一) コグニティブデザイン研究 (10. 荒牧悠) ヴィジブルデザイン研究	

科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
統合デザイン専攻（専攻専門科目）	研究指導（統合デザイン）Ⅱ		（概要）1年次（研究指導Ⅰ）での授業を踏まえ、修了の成果物としてのクオリティーを実現する指導を行う。この授業では、自ら立ち上げたプロジェクトの作品制作や表現研究を行いながら、新しいデザインの具現化および理論化や言語化の実践を通じ、社会に対してプロジェクトの価値を問う際に重要となるリサーチ・プレゼンテーション・コミュニケーション力の獲得を目指す。修士論文（論文主の場合）又は課題研究報告書（作品主の場合）を成果物とする。 修士論文は「学術論文」としての水準・体制を有し、本論文のみで論が成立するものを認定する。 課題研究報告書は、修士作品における制作理論を論じた副次的なテキスト資料であるものを認定する。 (1. 長崎綱雄) アンビエンスデザイン研究 (2. 永井一史) アートディレクション研究・ソーシャルデザイン研究 (3. 中村勇吾) インタラクションデザイン・コンピューショナルデザイン研究 (4. 佐野研二郎) アートディレクション研究・グラフィックデザイン研究 (5. 柴田文江) カタチと素材の研究 (6. 佐々木千穂) デザインリサーチ及び経験デザイン研究・インクルーシブデザイン研究 (7. 詫摩智明) UI / UX / CMFデザイン研究 (8. 野間田佑也) ビジュアルイゼーション研究 (9. 菅俊一) コグニティブデザイン研究 (10. 荒牧悠) ヴィジブルデザイン研究	
	統合デザイン演習Ⅰ		（概要）この演習授業では、指導教員が主体となって演習課題（教員が設定した研究開発テーマや高度産学協同研究プロジェクト）に取り組み、教員の指導のもと学生はデザインの具体化を担当する。主にプロトタイプ制作に伴うビジュアライズやリアライズの過程の指導を受けることで、課題の取り組みを通してプロフェッショナルとして必要なレベルのデザインの具体化や考え方、実務に伴う様々な判断などを学び、デザイン理論に偏らない実践的な経験を積んだ高度なデザイン人材の育成に取組むことを目指す。 (1. 長崎綱雄) アンビエンスデザイン研究 (2. 永井一史) アートディレクション研究・ソーシャルデザイン研究 (3. 中村勇吾) インタラクションデザイン・コンピューショナルデザイン研究 (4. 佐野研二郎) アートディレクション研究・グラフィックデザイン研究 (5. 柴田文江) カタチと素材の研究 (6. 佐々木千穂) デザインリサーチ及び経験デザイン研究・インクルーシブデザイン研究 (7. 詫摩智明) UI / UX / CMFデザイン研究 (8. 野間田佑也) ビジュアルイゼーション研究 (9. 菅俊一) コグニティブデザイン研究 (10. 荒牧悠) ヴィジブルデザイン研究	
	統合デザイン演習Ⅱ		（概要）この演習授業では、指導教員が主体となって演習課題（教員が設定した研究開発テーマや高度産学協同研究プロジェクト）に取り組み、教員の指導のもと学生はデザインの具体化を担当する。1年次（統合デザイン演習Ⅰ）での授業を踏まえ、統合デザイン演習Ⅱでは実装を目指した質の高いデザインの具体化、提案を行う。課題の取り組み（2年次では、プロジェクト相手方への成果物のプレゼンテーション（場合によっては商品化）を通してプロフェッショナルとして必要なレベルのデザインの具体化や考え方、実務に伴う様々な判断などを学び、デザイン理論に偏らない実践的な経験を積んだ高度なデザイン人材の育成に取組むことを目指す。 (1. 長崎綱雄) アンビエンスデザイン研究 (2. 永井一史) アートディレクション研究・ソーシャルデザイン研究 (3. 中村勇吾) インタラクションデザイン・コンピューショナルデザイン研究 (4. 佐野研二郎) アートディレクション研究・グラフィックデザイン研究 (5. 柴田文江) カタチと素材の研究 (6. 佐々木千穂) デザインリサーチ及び経験デザイン研究・インクルーシブデザイン研究 (7. 詫摩智明) UI / UX / CMFデザイン研究 (8. 野間田佑也) ビジュアルイゼーション研究 (9. 菅俊一) コグニティブデザイン研究 (10. 荒牧悠) ヴィジブルデザイン研究	

科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
(統合 攻デザイン 専門科目)専攻	統合デザイン実習		デザインとは世の中に存在する様々な事象における課題や問題を見極め、社会や生活の本質的な向上を目指す営みであり、局所的な対応ではなく、様々な領域が途切れることなく一貫性のある統合されたデザインが具体化されることが重要である。デザインに関わる領域のみならず、制度や社会システムや環境を含む生活を取り巻く全ての事象を統合デザインの対象と捉え、多面的・多層的な批評する力により対象の本質を的確に把握する姿勢や力を養い、創造的思考によりデザインに繋げる力を修得する。様々な事例を交えた対話型実習やケーススタディを行い、研究や実践の力を支える基盤としての姿勢や論理的思考、創造性の獲得を目指す。	共同